

# フジクローム 64T タイプII プロフェッショナル〔RTPII〕

FUJICHROME 64T TYPEII Professional

## 1. 特長及び用途

フジクローム 64T タイプII プロフェッショナル〔RTPII〕は、ISO 64の写真感度をもつタングステンタイプの高画質カラーリバーサルフィルムです。

このフィルムは、ISO 64のフィルムでは最高クラスの粒状性と優れた解像力をもっています。また十分な彩度があり、忠実な色再現性、豊かな階調と整った階調バランスをもっていますので、広範な商品撮影、インテリアや建築写真、イラスト・絵画の複写撮影などに適しています。

特 長	結 果
● 超微粒子	● 最高水準の粒状性を有しているため、大伸ばしや精細な画像を必要とする業務などに最適
● 豊かな階調	● 滑らかなつながりがシャドウ部でも失われることなく、微妙な質感描写を実現
● 忠実な色再現性	● 忠実な色相と高彩度の両立 ● 微妙なグラデーションをリアルに再現
● 優れた相反則特性	● 低照度下において、感度低下やカラーバランス変化が少ないため、長時間露光や深い被写界深度が要求される撮影に最適
● 優れた増減感処理適性	● ー1/2絞り減感から+1絞り増感の範囲でも色味や階調変化が少なく、露出の過不足を現像により調整可能
● CR-56/E-6* 処理適性	● 他のフジクロームフィルムと同様に、世界中どこでもCR-56処理またはE-6処理で現像可能

その他、このフィルムはフジクローム PROVIA 100、ASTIA 100と同様、優れた色画像安定性を有し、また生経時による性能変化も極力抑えています。

\*E-6処理はKODAKのケミカルスでCR-56相当処理です。

## 2. 写真感度

ISO 64/19° タングステン (3100K) 4秒露光時  
シートフィルムにはタングステン (3100K) 光源使用時の感度と色補正フィルターの推奨値が箱ごとに、裏面に捺印されています。使用する露光機材や処理条件の違いにより最適条件が得られない場合があるため、厳密な仕上がり結果を必要とする場合は、その推奨値をもとにテスト撮影することをお勧めします。

## 3. フィルムのサイズ、乳剤番号、ベース材質及び厚さ

ロール	135…36枚撮り 35mm×30.5m (100ft) 120…12枚撮り	#701~
シート	4×5 (10.2×12.7cm) 10枚入り, 50枚入り * 5×7 (12.7×17.8cm) 20枚入り 8×10 (20.3×25.4cm) 10枚入り * 11×14 (27.9×35.6cm) 10枚入り クイックロード (4×5) 20枚入り	

\*特注品

ベース材質 …… セルロース トリアセテート

ベース厚さ …… ロール 135 : 127 μm

120 : 104 μm

シート : 205 μm

## 4. 各種光源での撮影方法

このフィルムは写真撮影用タングステン電球による照明下で最良の結果が得られるように設計してあります。やむをえず、その他の光源を使用するときは下記の補正が必要になります。

各種光源での補正

光 源	補正フィルター	露光量補正 (絞り)*4	
写真撮影用タングステン電球 ● スタジオ用タングステン電球 ● タングステン-ハロゲン電球 ● フォトフラッド電球 ● フォトスポット電球 (3100K)	不 要	不 要	
● デーライト ● ストロボ ● ブルーフォトフラッド電球 ● ブルーフォトスポット電球 (5500K)	LBA-12+LBA-2*1 (No.85B)*2	+1 (+1/2)	
蛍 光 灯	白色型 (W)	LBA-16*1+30M*3+15B*3	+2
	昼光色型 (D)	LBA-16*1+20R*3+20M*3	+2
	三波長型 (EX-N)	LBA-16*1+20M*3	+1 1/3
	三波長型 (EX-D)	LBA-16*1+15R*3+15M*3	+1 1/3

\*1 富士色温度変換フィルター

\*2 コダックフィルター

\*3 富士撮影用色補正フィルター (コダック CC フィルター)

\*4 露光量の補正には、フィルターの露光倍数も含まれています。  
+は「絞りを開ける」。

### タングステン電球

- 写真撮影用タングステン電球は、色温度に影響を与えるため、規定の電圧で使用してください。明るさと色温度はメーカーや総点灯時間、点灯電圧、使用されたリフレクターやディフューザーなどによって異なるため、テスト撮影を行うことをお勧めします。
- 家庭用タングステン電球の色温度は一般に低いため、主光源として使用する場合は、LBB-2 (またはNo.82A) の色温度変換フィルターを使用する必要があります。

### デーライト (昼光)

昼光下や一般的なストロボを使用した撮影では前表に示した補正が必要です。色温度の高いくもりの日や晴天の日陰ではLBA-16 (またはNo.85B+No.81A) のフィルターが必要です。色温度の低い朝夕の太陽光下ではLBA-12+LBA-2 (またはNo.85B) のフィルターが必要です。

### 蛍光灯

総点灯時間、リフレクターやディフューザー、取り付け器具の違いなどにより、同じタイプ、メーカーであっても色味が異なる場合があります。

### ミックス光

ミックス光 (特にタングステンとデーライト) での撮影は推奨できませんが、やむを得ずそのような条件で撮影する場合は、主体になっている光源に合わせたフィルター補正をしてください。

### その他の光源

メタルハライドランプや水銀灯そして前表に記載のない蛍光灯を使用する場合には、あらかじめテスト撮影をして補正フィルターと最適な露光量を決定してください。

## 5. 長時間露光時の露光補正

露光時間 1/15~64 秒の範囲では相反則による補正の必要はありませんが、64 秒を越える長時間露光では、次表のような絞りによる露光量補正が必要です。

露光時間 (秒)	1/4000~1/30	1/15~64	128	256
色補正フィルター	お勧め できません	不要	不要	不要
露光量補正 (絞り)			+1/3	+1/2

## 6. 撮影上の注意事項

ストロボ、フォトリフレクターランプ、蛍光灯、タングステン電球、水銀灯などの人工光源はメーカー、種類、点灯電圧、総点灯時間によって、明るさや色がそれぞれ変化する場合があります。また照明光の光量を調節したり光を拡散させる目的で用いられるリフレクター、ディフューザーなどはその特性の違いによって、同様の変化が生じる場合があります。

## 7. フィルムの取り扱い

- フィルムの外箱に記載の有効期限内に撮影・現像処理を必ず完了してください。
- ロールフィルムのカメラへの装填・取り出しは直射日光を避けて、すばやく行ってください。
- シートフィルムの取扱いは必ず全暗黒下で行い、乳剤面に触れないように注意してください。
- 空港の手荷物検査時に使用されるX線はフィルムをカブリさせる場合があります。従って露光済/未露光にかかわらず、フィルムは荷物から取り出し、X線をあてないように手検査を受けてください。
- 病院、工場、研究室などの放射線を取り扱う場所では、フィルムがカブリのおそれがあります。フィルムは放射線源から離して保存してください。

## 8. フィルムの保存

### 現像処理前

- 未露光、露光済み問わず現像処理前のフィルムは温度・湿度が高いほど写真感度、カラーバランス、物理的特性などに悪影響を受けます。フィルムは次のような条件で保存してください。
  - 通常又は短期保存：温度15℃以下 (冷蔵庫)
  - 長期保存：温度0℃以下 (冷凍庫)
- 新建材や新しい家具、ペンキ、接着剤などからフィルムに悪影響に及ぼすガスが発生することがあります。フィルム、フィルムを入れた遮光ボックス、フィルムを装填したカメラやフィルムホルダーはこのような物の近くに保存しないでください。
- 低温で保存されたフィルムを使用するときは室温に戻して (冷蔵は3時間以上、冷凍は6時間以上待って) から開封してください。また、長尺品 (100ft) は、さらに時間をおいてください。温度が低いうちに開封すると、結露して使えなくなることがあります。

**現像処理後**

- 光および高温、高湿は処理後のフィルムを変退色させる原因になります。従って、処理済フィルムはマウントしたり、スリーブに入れて、通気性の良い乾燥した冷暗所に、次のような条件で保存してください。

- 通常の保存：温度 25℃以下，相対湿度 30～60%
- 長期の保存：温度 10℃以下，相対湿度 30～50%

**注** このカラーフィルムの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化します。

**9. 現像処理**

フジ CR-56 処理で現像処理してください。Kodak E-6 処理でも処理できます。

**10. 観察光源**

標準のスライドビューアを使用してください。光源の光質や明るさにより見え方が異なるので ISO\* 規格に合った光源を使用してください。

\* ISO 規格 (ISO/DP3664-2) では、ビューア表面で基準光の色度 CIE イルミナント D<sub>65</sub> (D: Daylight), 相関色温度 5000K, 平均輝度 1400cd/m<sup>2</sup> ± 300cd/m<sup>2</sup>, 輝度の均一性 75% 以上, 光の拡散性 90% 以上, 平均演色評価数 Ra90 以上と定められています。トランスパレンシービューアはこれらの値を満たしていません。

**11. プリント/デュープ**

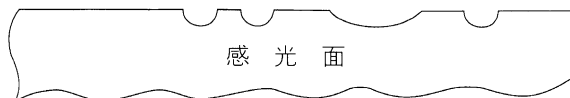
このフィルムから、フジクロームペーパーにダイレクトにプリントができます。また、フジカラーインターネガティブフィルムにプリントすることにより、各種ディスプレイや業務用など、幅広い用途に利用できます。更に、フジクロームデュープリケータリングフィルム CDU II で高画質のデュープが作成できます。

**12. レタッチ/ブリーチ**

フィルムのレタッチ/ブリーチは、市販のレタッチングダイやブリーチ薬品にて、濃度やカラーバランスが変更できます。

**13. シートフィルムのコードノッチ**

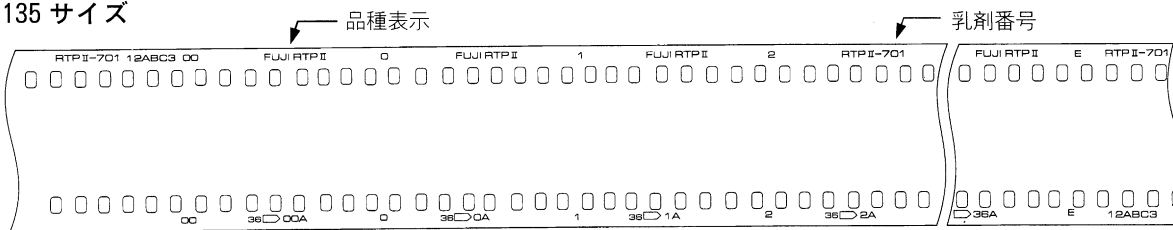
図のように、コードノッチが右上すみになるようにして持つと感光面（乳剤面）が手前になります。またクイックロードも同じコードノッチです。



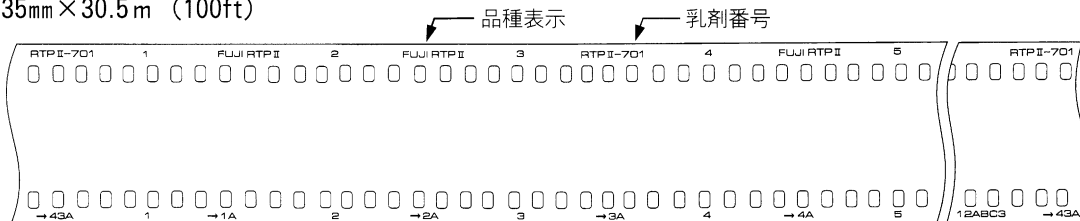
**14. 現像処理後のサイドプリント\***

〈ロールフィルム〉

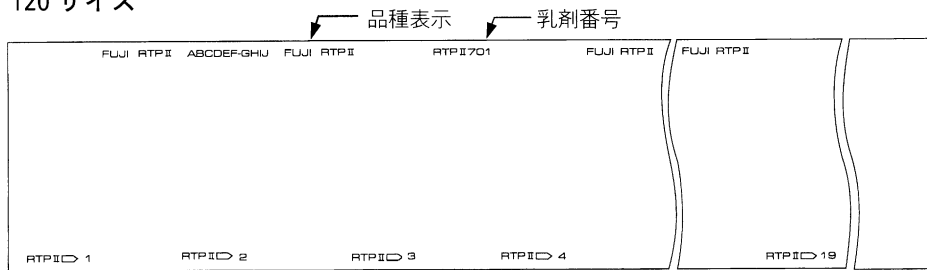
- 135 サイズ



- 35mm × 30.5m (100ft)

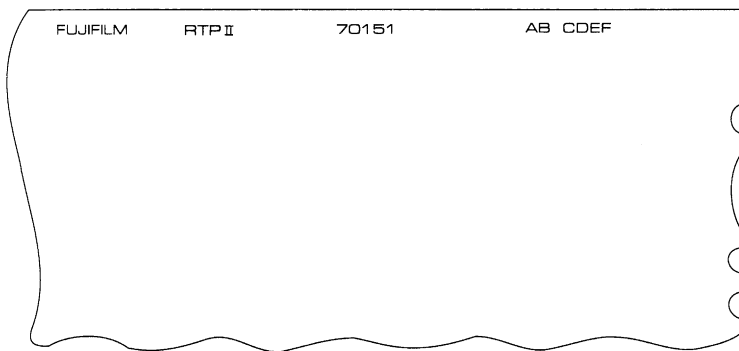


● 120 サイズ

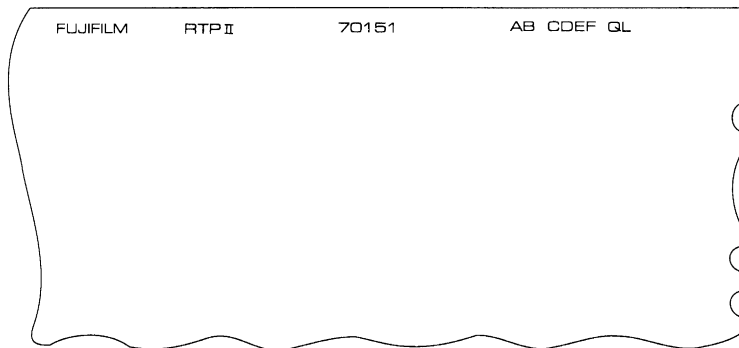


〈シートフィルム〉

● シートサイズ

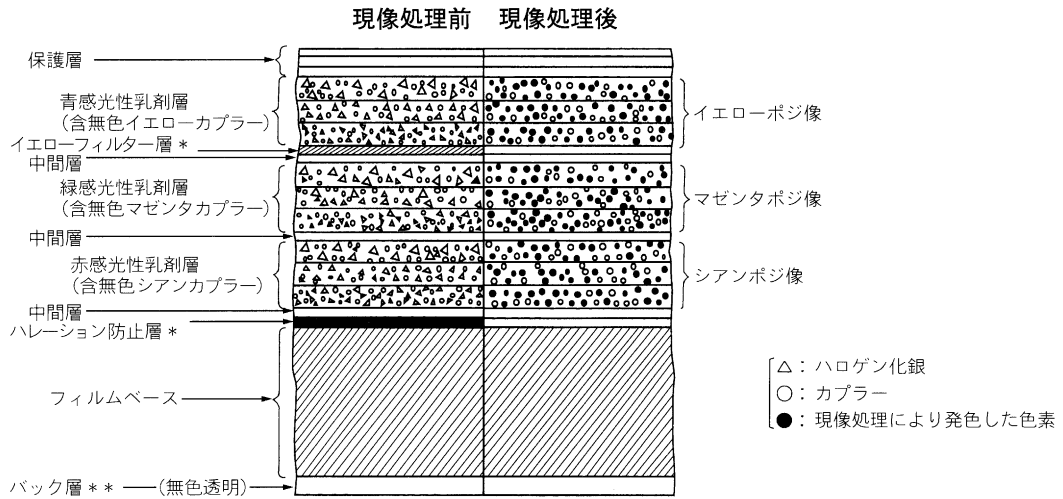


● クイックロード



\* 感光面はすべて裏側になります。

15. 層構成



\* 現像処理後は、無色透明となります。  
 \*\* バック層は現像処理前も後も無色透明ですが、135 サイズフィルムにはありません。

16. 拡散 RMS 粒状度

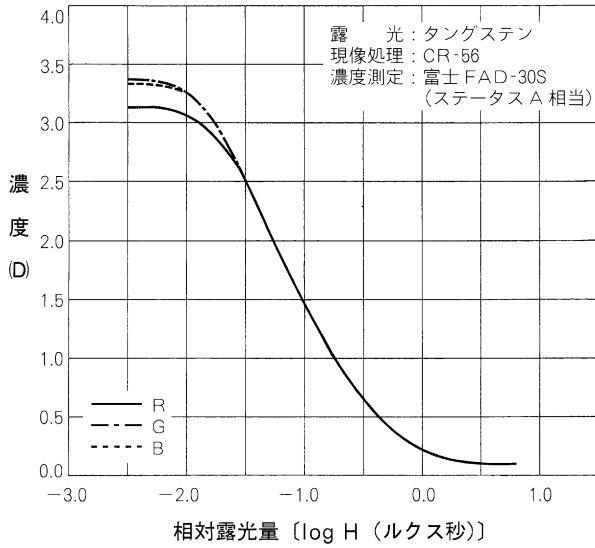
…… 10

マイクロ濃度系の測定アパーチャー：48  $\mu\text{m}\phi$   
 試料の濃度：最小濃度プラス 1.0

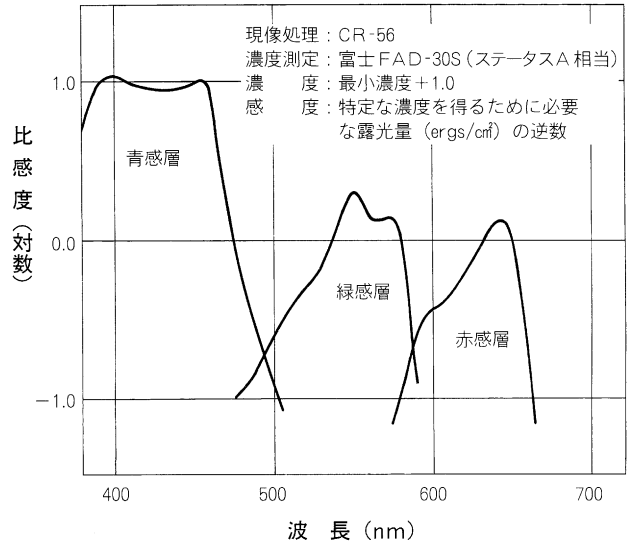
17. 解像力

チャートのコントラスト 1.6 : 1 …… 55 本/mm  
 チャートのコントラスト 1000 : 1 …… 135 本/mm

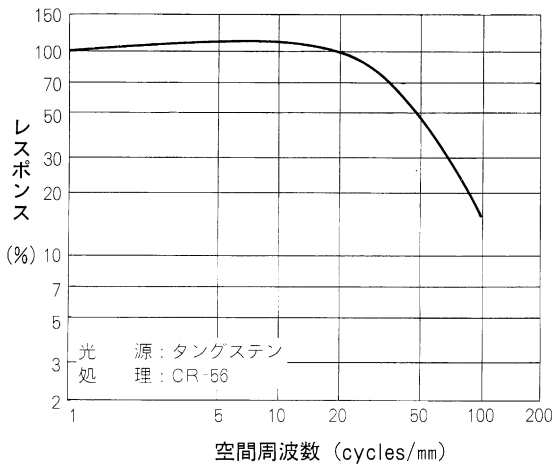
18. 特性曲線



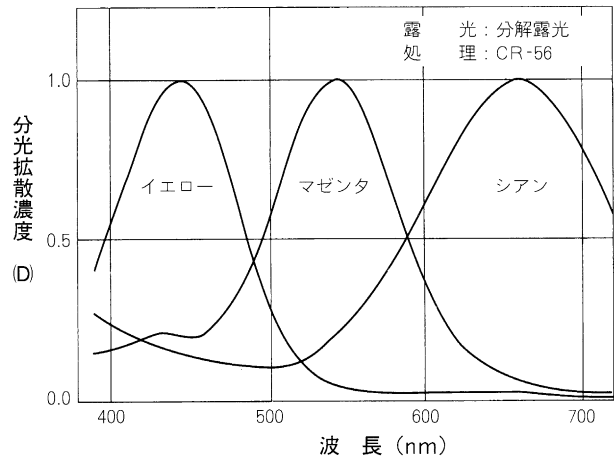
19. 分光感度曲線



20. MTF 曲線



21. 色素の分光濃度曲線



**注** このデータシートに記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので、製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。



富士写真フイルム株式会社

プロフェッショナル写真部

東京本社 / 〒106-8620	東京都港区西麻布2-26-30	TEL 東京 (03) 3406-2094
大阪支社 / 〒541-0051	大阪市中央区備後町3-5-11	TEL 大阪 (06) 6205-6470
札幌営業所 / 〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2	TEL 札幌 (011) 241-7164
仙台営業所 / 〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1	TEL 仙台 (022) 265-2121
名古屋営業所 / 〒460-0008	名古屋市中区栄2-10-19	TEL 名古屋 (052) 203-6261
広島営業所 / 〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35	TEL 広島 (082) 256-3311
福岡営業所 / 〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL 福岡 (092) 281-0231